



夏休み！ まんが家が 茶花ぼこさんが やってくる！

インドネシアの首都ジャカルタに住んで、マンガ学校を開いているマンガ家の茶花ぼこさん(44)が、夏休みに生まれ故郷の長野市で、こども記者クラブのマンガ教室の先生をしてくれます。
茶花ぼこさんは、**こども新聞**のまんがとエッセーの連載「ハロー！ ジャカルタ」でおなじみ。今回は、今まで載ったまんがの中から、ピックアップして紹介します！

人気高い日本のまんが



2010年4月18日

海外の日本食ブーム



2010年8月29日

お絵かきクラス大人気



2010年11月28日

戦国武将だれが好き？



2011年1月30日

マンガの背景にある「効果」は日本発の文化なんだって

「ズルっ」とか「キラーン」とかって、日本からマンガで伝わったんだ

感情を表す日本の文化



2011年4月16日

マンガのノリ 日常にも



2011年6月18日

「長野県のみなさん、茶花ぼこと申します。インドネシアの首都ジャカルタにマンガ学校を開校して9年になります」。記念すべき連載1回目のエッセーは自己紹介でスタート。インドネシアのまんが人気を紹介しました。

「お絵かき」人気は、子どもだけでなくお母さんたちの過熱ぶりもスゴイ！

インドネシアのマンガ好きの中にも、戦国武将ファンが



茶花ぼこ



茶花ぼこさんてどんな人？

1967年、長野市生まれ。まんが家のアシスタントをして修行した後、1990年に4コマまんがで雑誌デビュー。97年にインドネシアに夫婦で移り住みました。2002年10月、インドネシアでは先駆けとなるマンガ学校「マテコマンガスクール」をジャカルタに開校。今は子どもから大人まで約140人が通っています。

参加者募集！ 夏休み企画 **Halo! ジャカルタ** まんが教室

日時：8月8日(月)午後1～3時半
場所：長野市南県町の信毎本社

定員：先着20人程度
対象：4～6年生くらい
講師：茶花ぼこさん



インドネシアのまんが人気などのお話を聞き、本格的な技法を教わって自分でマンガを描いてみます。家に帰ってから内容を記事に書いてもらいます。
参加無料。送り迎えは保護者同伴。住所、名前、電話番号、学年、年齢(8月8日時点)、保護者名を書いて、信毎地域活動部「まんが教室」係へ。

★茶花ぼこさんのマンガ学校の子どもの作品を、8月1日(月)～20日(土)、長野市の信毎本社ロビーに展示するよ。
お問い合わせ：信毎地域活動部 TEL026・236・3110

みんな最初は一年生

私が初めて「訂正」を出したのは、記者になった年の夏。ある町のお盆の成人式の記事で、あいさつした町長の名前を間違えてしまいました。
次の取材予定が迫っていたので、「名前は後で確認すればいいや」と取材を切り上げ、書物で町長



24歳目 入社21年目 記者の採用担当・人事部 吉田純部次員

の氏名を見て記事を書きました。しかし、成人式の少し前の選挙で町長は別の人に代わっていたので、「訂正」を載せるとき、記者は「始末書」を会社に提出します。間違えた理由を記し、「二度とこのようなことのないよう注意します」と反省の言葉を書くのです。今は筆ペンを使いますが、当時はすずりて墨をすって毛筆で書きました。間違えてしまったシヨックを引きずりながら慣れない毛筆で何とか書き上げると、先輩記者が「字はなかなかうまいね」と一言。「始末書でそんなことを言われても…」と一層落ち込んだのを覚えています。
16年の記者生活で、始末書は十枚以上書いたと思います。4年前に人事部に移り、記事を書く機会はなくなりましたが、「墨をする」という言葉を聞くと、今も胃の辺りがキュッと締め付けられる思いがします。